

2日目 9月16日

会 場： 県立浜山球場

第1試合		～1回戦～																	
TEAM		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
大 東		0	1	0	1	1	0	0	0	1							4	8	1
出雲商業		0	0	1	1	0	0	0	0	0							2	11	2
(投手-捕手)																			
・ (大)		林→光田 - 稲田海																	
・ (出)		福原→川西 - 神田→飯山																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (大)																			
・ (出)																			
(審判) [球審]		瀧隆				〔一塁〕大谷				〔二塁〕本田				〔三塁〕平井					
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(大)	41	8	3	0	0	0	5	5	3	5		0		1	0	0	0	0	
(出)	37	11	1	0	0	0	5	1	2	3		1		2	3	0	0	1	

「大東、積極的な作戦実る！」

大東と出雲商業は春季大会も同一カードで最近良く公式戦で対戦する両校の組み合わせとなった。出雲商業は1年生大会で出雲地区を制覇した世代が最上級生となり要注目の世代だ。

試合は出雲商業が福原、大東は林の先発で始まった。大東は2回、先頭がポテンヒットで出塁するとエンドランとバントで2死3塁とし稲田海の適時打で先制する。出雲商業は3回裏に2死から安打と失策で2死1・2塁とすると神田がレフトへ同点適時打を放つ。直後の4回表に林のスライズで大東が1点を勝ち越すが、出雲商業も直後の4回裏に福原の適時打で同点とし一進一退の攻防が続く。

5回表、先頭の川本が安打で出塁すると盗塁と送りバントで1死3塁とし沖田の三遊間を破る適時打で1点勝ち越すと、9回にも暴投の間に1点を追加した。反撃したい出雲商業だったが、4回途中からリリーフした光田に抑え込まれ得点を奪うことができなかった。大東は盗塁やエンドランといった積極的な足技で出雲商業の投手を攻略した。

